

# Annual Program Progress Report 2016

World Vision

2016年 プログラム近況報告  
カンボジア ボレイ・チュルサール地域開発プログラム

ご支援により  
ボレイ・チュルサール地域の子どもたちの生活が改善しています



レイ・シネット  
ボレイ・チュルサール地域開発プログラム マネージャー

“ボレイ・チュルサール地域の子どもたちをご支援くださり、ありがとうございます。子どもたちは、皆さまの惜しみないご支援をいつも心に留めています。今年度の活動によって、子どもたちは家庭できれいな水を手しやすくなり、衛生状態が改善しました。また、若者たちがリーダーを務める子どもクラブで、楽しく勉強したり遊んだりすることができました。一方で、この地域には依然として子どもたちの栄養不良という大きな課題があります。私たちは今後も、栄養状態の改善を最優先課題として取り組んでいきます。皆さまからのご支援によって、課題の解決を目指して活動することができています。子どもたちと地域の住民を代表して、私たちの国の次の世代のためのご支援に心から感謝申し上げます。”



# 2016年のボレイ・チュルサール地域での主な成果

ご支援により、ボレイ・チュルサール地域の子どもたちの生活に多くの変化がもたらされました

## 健康状態が改善しました

子どもたちが良い衛生習慣を身につけています。

6つの小学校と17の村で、2,500人以上の子どもたちと1,620人の地域の人々が、良い衛生習慣について学びました。

水が原因で感染する病気から子どもたちが守られています。

2,400人以上の子どもたちと68人の教師が、水質浄化剤33,600袋を受け取り、小学校で安全な飲料水を飲めるようになりました。

## 地域の人々の中で大切に保護されて成長しました

子どもたちが出生時からしっかりと見守られ、十分なケアを受けています。

2,620人以上の5歳未満児が、免疫力向上に必要なビタミンAの投与を受けました。新生児から生後5カ月までの乳児を持つ母親を訪問する回数を増やし、成長の経過を見守っています。

子どもの権利についての意識が高まってきました。

子どもの権利についての意識を向上させるための「世界子どもの日」の式典に、1,430人以上の子どもたち参加しました。

## 教育を受けました

子どもたちが通学のための支援を受けています。

学齢期の子どもたちを学校に通わせるよう保護者に促す小学校入学推進キャンペーンに、4校で約1,200人の子どもたちが参加しました。保護者も920人以上が参加しました。

子どもたちの読解力が向上しています。

文章を読んで理解できる小学校6年生の生徒が2014年度に比べて28%増加し、約150人になりました。

## 価値ある存在として尊重され愛情を受けました

子どもたちにとってとても重要な、友だちとの支えあいの絆が築かれています。

200人以上の子どもたちが、地域にある13の子どもクラブに参加し、友だちと互いに支えあう有意義な人間関係を築いています。十代の若者たちも、このクラブのリーダーを務めることを通して、友だちとの絆を深めています。





“衛生状態改善の活動に参加してから、きちんと手を洗うようになりました。病気にかからず、いつも元気で過ごしたいからです。”  
- タイちゃん(11歳、写真右)

“私の父は、3年間タイへ出稼ぎに行っていました。とても寂しかったです。でも、豆の栽培で十分な収入を得ることができるようになったので、もう出稼ぎに行かないと約束してくれました。”  
- ペンちゃん(13歳)



“子どもクラブでは、勉強をしたり、歌を歌ったり、近くに住んでいるたくさんの友達と遊んだりしています。とても楽しいです。”  
- ヴィティアちゃん(9歳、左から3人目)



“青少年クラブに参加できて、とてもうれしいです。コンピューターの使い方を学べるとは、思ってもみませんでした。”  
- ミネアちゃん(15歳)



# Saving for My Children

## 子どもたちのための貯蓄

プローチさん（38歳）は妻を亡くした後、男手ひとつで3人の子どもたちを育てています。

「子どもたちを小学校に通わせる経済的余裕がなくなった時期があり、本当に大変でした。子どもたちが、『学校に行かずにお父さんのお手伝いをしたい。草刈りをしたり、カニを採って市場で売ってお父さんを助けたい』と言い出した時は、本当に心が痛みました。

状況を改善するために、州政府の農業部門で養豚技術を学んだ後、貯蓄グループから100ドル（約11,000円）の資金を借りて、子豚を5匹購入する決断をしました。今では14匹の豚を飼育しています。1匹売れば175ドル（約19,250円）の収入になるので、子どもたちが学校に通うための費用が払えるようになりました。子どもたちが一生懸命勉強している姿を見るととても嬉しいです。

子どもたちが成長し、高校を修了することが私の夢です。貯蓄グループで現在貯めているお金で、大学まで通わせることもできたらと願っています。」



貯蓄グループからお金を借りて豚を購入したプローチさん。子どもたちは楽しく餌やりを手伝っています。



お問合せ先  
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン  
電話：03-5334-5351（平日9:30～17:00）  
e-mail：dservice@worldvision.or.jp  
ホームページ：www.worldvision.jp

プログラム番号：CAM-198338

**カンボジア ボレイ・チュルサール地域開発プログラム (CAM-198338)**  
**2015年度 (2014年10月1日-2015年9月30日)**

**会計報告**

<b>プログラム支援額</b>	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	29,451,803
前期からの繰越額	-7,781
<b>プログラム支援額合計</b>	<b>29,444,022</b>
<b>プログラム支出額</b>	
地域組織化プロジェクト	5,495,497 ●
教育プロジェクト	10,050,607 ●
保健衛生プロジェクト	9,149,092 ●
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	7,543,524 ●
<b>プログラム支出額合計</b>	<b>32,238,720</b>
次期繰越額	-2,794,698

**活動内容**



**地域組織化プロジェクト**

- ・地域内の小グループ活動の活性化
- ・事業関係者の運営管理能力強化



**教育プロジェクト**

- ・教育の重要性に関する意識の向上
- ・地域内の学校教育の質の向上
- ・保護者の収入向上



**保健衛生プロジェクト**

- ・住民グループを立ち上げ、住民に衛生に関する知識の伝達と行動変容を促す活動
- ・5歳未満の子どもとその母親・保護者の健康・栄養改善に関する啓発
- ・地域保健医療体制の強化

**スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト**

- ・手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
- ・チャイルドの定期的なモニタリング
- ・「子どもを中心とした開発」についての啓発活動